

# 豊明市行政評価制度「施策」評価票

施策評価票番号

48

## 1 施策の概要

1-1 施策の名称	広域連携			基本施策コード	6 1 1
1-2 担当	部	企画部	課 又は施設	企画政策課	評価票作成者 課長 宮田恒治
1-3 総合計画における施策の体系	節	計画推進「効率的で顧客志向の行政経営」			
	項	広域連携			
1-4 施策の目的	他の自治体と連携して事務処理を実施することにより、効率的な行政運営を行う。				

	平成22年度評価 (前期の成果)	平成27年度評価 (全期間の成果)
担当課評価		
総合評価		

施策評価の判定基準  
 A : 施策の目的を効果的に達成しているため継続する  
 B : 施策推進の実施手法等に改善の必要がある

1-5 総合計画における基本成果指標	基本成果指標名	前期(平成18年度~平成22年度)			全期間(平成23年度~平成27年度)			指標の定義
		目標値(単位)	実績値(単位)	達成率(%)	目標値(単位)	実績値(単位)	達成率(%)	
	広域で処理している事務事業数	5(件)			7(件)			水道・ごみ処理等広域で処理する事務事業数

## 2 施策推進の状況

2-1 施策全体に係る合計コストの推移(千円)	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
	直接事業費	318								
	人件費	912								
	合計コスト	1,230								

## 3 施策の担当課による評価結果

3-1 評価結果	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
	<input checked="" type="checkbox"/> 良好に進展 <input type="checkbox"/> 良好でない	<input type="checkbox"/> 良好に進展 <input type="checkbox"/> 良好でない								

3-2 評価の内容	今後の環境変化を踏まえた課題認識		既存事業の構成や優先順位の考え方、新規事業の必要性の考え方		施策の担当課としての単年度の取り組みの自己評価	
	平成18年度	水道やごみ処理などの一部事務組合は広域連携しているが、尾張東部地区の広域行政圏協議会のエリアでの取り組みが弱い。	公共施設の広域利用や公共バスの広域連携を充実させる。		尾張東部地区広域行政圏協議会において、シンポジウムや地域見学会を開催するなど、一定の成果を挙げた。	
	平成19年度					
	平成20年度					
	平成21年度					
	平成22年度					
	平成23年度					
	平成24年度					
	平成25年度					
	平成26年度					
平成27年度						

4 参考情報

4 - 1 施策を構成する事務事業の評価情報			平成18年度			総合評価
番号	事務事業名称	成果指標と最終目標値(単位)	実績値	担当課 評価	担当課判断優先順位	
1	広域行政圏計画の策定事業(主要事業)	広域行政圏計画の策定 1(計画)	0	A	1	A
2	広域行政圏事務事業	広域利用ができる施設数 3(箇所)	0	A	2	A
3	広域事務処理におけるシステムの導入事業	広域利用ができる施設数 3(箇所)	未実施	-	3	-
4	合併に関する調査・研究事業	合併に関する調査研究報告 2(件)	未実施	-	4	-
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						